

日の出町の高齢者施策と子育て支援を学ぶ

高齢者いじめの冷たい制度、後期高齢者医療制度。一年前、当時野党だった民主党は、政権についたら一刻も早く「姥捨て」になるこの制度はやめると国民に約束しながら、政権についたいま先送りをしています。それに比べ小さな町がはじめた大きな施策が全国の注目を集めています。その自治体があきる野市のお隣の日の出町です。5月10日、市議団は視察に行ってきました。

75歳以上の高齢者医療費の窓口負担ゼロの施策

私たちを迎えてくれ説明してくれたのは清水和明町民課長さん。青木前町長が、「個人負担分は町が負担し無料化にします」と平成20年の敬老大会で爆弾宣言。21年度、庁内で予算化、費用負担は7500万円です。背景には、暮らしを支え、家族を養い、家族・地域・町のため献身的に努力してきた高齢者に報いる施策としてすすめてきた「日の出発～日本一お年寄りにやさしい町づくり宣言」がありました。

医療機関の窓口で支払った領収書を役場窓口で渡すと現金が支払われます。実施すると町民から大歓迎されています。北は北海道、南は沖縄から行政視察団が来ているそうです。

75歳・人間ドック無料受診 高齢者外出支援バスも

お年寄りに対する暖かい施策では、75歳を迎えると人間ドックが無料で受けられます。また4箇所にあるお年寄りのサロン(入浴施設)と役場をつないで走る無料の高齢者外出支援バスが運行されています。敬老金は2万円。100歳になるとさらに100万円が支給されます。

子育てクーポン券事業で 子育て家庭を支援

子育て支援施策については、宮岡進子育て福祉課長さん。すべてのこども、0歳から15歳まで所得制限なしで毎月1万円のクーポン券が支給されています。商工会加入の個店での買い物のほか、学校給食費や保育料にも使えます。ちなみに20年度の出生児は104人、21年は130人と増えています。子育て家庭のための町営住宅が22棟用意されています。地域から「子育てママ100人会議」がつけられていて町長は毎回参加しているとのことでした。町民の生活に根ざした次世代育成が考えられていることに感心しました。



次世代育成クーポン券

日の出町会議室にて



戸沢ひろゆき
558-9721

たばたあずみ
550-6674

山根とみえ
550-4224

ホームページをご覧ください

日本共産党あきる野市議団 検索

日の出町の視察感想

ハードからソフトへという考え方のもとで、高齢者を思いやる施策と、子育て世代が住みやすい環境作りのため町民の声を聞き、力を入れて取り組んでいる姿勢がすばらしいと思いました。あきる野市でも税金の使い方をかえれば、福祉・教育優先の市政ができると強く感じました。

6月定例会市議会の日程

- 5月24日(月) 陳情締め切り
- 6月1日(火) 本会議初日 一般質問 9時半より
- 6月2日(水) 本会議二日目 一般質問
- 6月3日(木) 本会議三日目 一般質問
- 6月4日(金) 本会議四日目 提出議案審議 付託案件決定
- 6月8日(火) 総務委員会
- 6月9日(水) 環境建設委員会
- 6月10日(木) 福祉文教委員会
- 6月17日(木) 最終本会議

その他

5月31日(月) 阿伎留病院議会 10時より

法律相談

5月26日(水) 午後1時半～3時
予約が必要です。市議団までご連絡ください。